

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年10月17日（火）

2 確認箇所

- ・ALPS処理水希釈放出設備（測定・確認用設備、移送設備、希釈設備、放水設備）（K4タンクエリア、多核種移送設備建屋、5・6号機東側電気品建屋、5・6号機敷地護岸ヤード）
- ・使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）

3 確認項目

令和5年度第3回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会による現地調査等

4 確認結果の概要

「令和5年度第3回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会」による現地調査に同行し、専門委員、関係自治体とともに、2回目のALPS処理水の放出が行われているALPS処理水希釈放出設備の状況及び増設が計画されている使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（以下「第三施設」という。）の状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年1月24日](#)（令和3年度第8回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会状況確認））

ア ALPS処理水希釈放出設備の状況

- ・東京電力の説明を受けながら、K4タンクエリアの測定・確認用タンク、多核種移送設備建屋内の処理水移送ポンプ等、5・6号機東側電気品建屋内の緊急遮断弁等及び5・6号機敷地護岸ヤードの放水立坑（上流水槽、下流水槽）等の状況を確認した。（写真1）
- ・東京電力によると、今年度は4回の放出を計画しており、第3回目は測定・確認用タンクA群を対象とし、第4回目は、K4タンクエリアE群及びK3タンクエリアA群のALPS処理水を測定・確認用タンクB群に移送して放出する計画とのことであった。

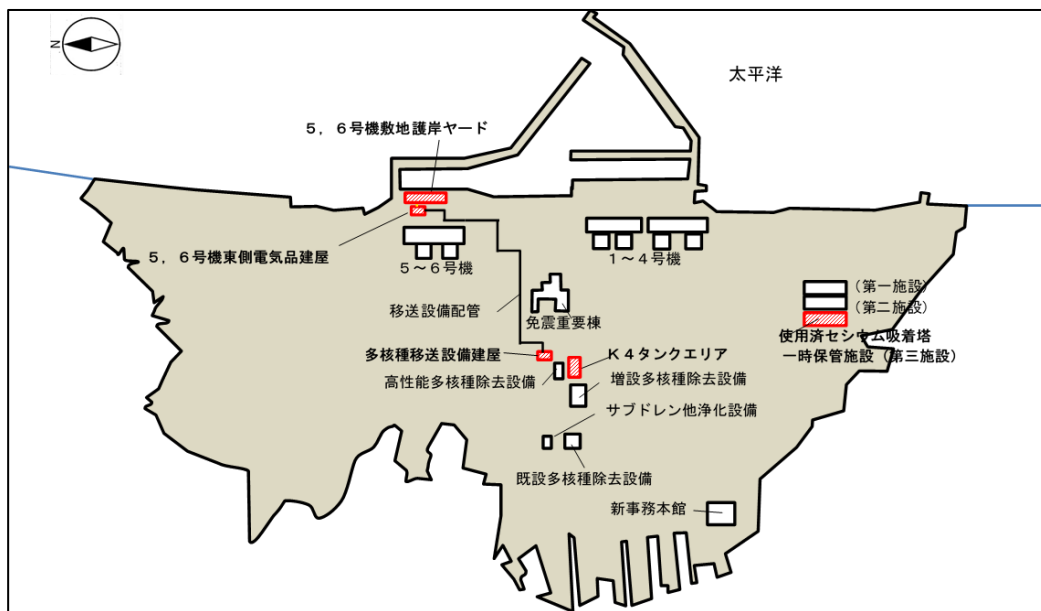
イ 第三施設の状況

- ・東京電力の説明を受けながら、HIC*をボックスカルバート内に格納している第三施設の状況を確認した。（写真2）
- ・東京電力によると、現在、第三施設には、19ブロック（HIC：3648基分）のボックスカルバートが設置されており、今回、南側に2ブロック分（384基分）のボックスカルバートを増設する計画とのことであった。

※H I C：多核種除去設備から発生するスラリーや吸着材等の廃棄物を收容するために用いるポリエチレン製の容器であり、外面をステンレス製の補強体で覆った状態で使用、保管されている。

ウ その他

- ・現地調査終了後に会議が開催され、ALPS処理水第2回目放出の状況、及びALPSスラリー減容化に向けた取組状況等について、東京電力から説明を受け質疑が行われた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

K4タンクエリアの確認状況
(西側から撮影)



処理水移送ポンプ（B）

（写真 1 - 2）

処理水移送ポンプ及び処理水移送配管等の確認状況（多核種移送設備建屋内南西側から撮影）



緊急遮断弁 1（A系統）

緊急遮断弁 1（B系統）

（写真 1 - 3）

緊急遮断弁 1 等の確認状況（5・6号機東側電気品建屋内北東側から撮影）



放水立坑（上流水槽）

海水配管

（写真 1 - 4）

放水立坑（上流水槽）、海水配管等の確認状況（北西側から撮影）



（写真 1 - 5）

放水立坑（下流水槽）の確認状況（南東側から撮影）



(写真 2 - 1)
第三施設の概観 (北西側から撮影)



(写真 2 - 2)
第三施設の確認状況
(北側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。